

【公開日】 2026年8月6日

作成日 2024年 7月 29日
(最終更新日 2026年 7月 1日)

「情報公開文書」

受付番号：2026-4-060

課題名：食習慣・生活習慣と体組成の関連性の検討

研究責任者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門
教授 寶澤 篤

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画参加者のうち、地域住民・三世代コホート宮城（20歳以上）で、Inbody（体成分分析装置）に関わるデータがベースライン、詳細二次調査のいずれかで収集されている方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2025年1月（研究実施許可日）～2027年12月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的】

急速な高齢化による高齢人口の増加は、サルコペニア（筋肉量の減少）をはじめとする加齢性の疾患の増加や、健康寿命の延伸に対するニーズの増加、医療経済の圧迫につながっています。そこで、本研究では、より個に応じた実行可能な食及び生活習慣の提案により個の健康寿命の延伸を目的として、現状の日本における体組成の実態およびこれに関与する食生活・生活習慣因子を同定するとともに、将来の体組成予測ならびに関連する疾病の予測の検討を行います。

【研究方法】

本研究は、東北メディカル・メガバンク計画コホート調査参加者のベースライン調査、二次調査（ベースライン調査から約5年後）、三次調査（ベースライン調査から約10年後）の下記データ項目を用いて、下記の3点について、サントリীগローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究により解析を行います。

- 1) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者における年代別のInbodyによる体組成の把握と関与する食生活・生活習慣を明らかにする。
- 2) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の食事、年齢、性別を考慮した10年間の体組成の変化と、これに関与する食生活・生活習慣等の因子を解明する。
- 3) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の、コホート参加開始5年後、

10年後の体組成の変化と疾患の発症との関係を明らかにするとともに、これを予測する生活習慣・遺伝子・代謝産物・血液検査値を解明する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用する主なデータ項目は以下の通りです。

- ・基本情報（年齢、性別）
- ・調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）
- ・調査票(食)情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）
- ・検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）
- ・生理機能検査情報（InBody 検査、握力、脚進展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）
- ・ゲノム情報（SNP アレイ情報）
- ・メタボローム（代謝産物）情報
（いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報）
- ・介護保険情報、レセプト情報

4. 外部への試料・情報の提供

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社へ提供されます。

なお、「3.研究に用いる試料・情報の種類」に示す情報には、高度なセキュリティを担保した当機構のスーパーコンピュータで内外の研究者がアクセスします。外部の共同研究者がアクセスする場合も、高度なセキュリティが担保された端末から、承認された者のみが解析を行います。このスーパーコンピュータ内では、個人情報とこれらの情報は紐づけられません。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：張替 秀郎 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：無

情報：基本情報（年齢、性別）

調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）

調査票（食）情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）

検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）

生理機能検査情報（InBody検査、握力、脚進展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）

ゲノム情報（SNPアレイ情報）

メタボローム（代謝産物）情報

（いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報）

介護保険情報、レセプト情報

5. 関係研究組織

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

研究責任者：寶澤 篤

東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門教授

共同研究機関

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

研究責任者：出雲貴幸

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ窓口

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-273-6212

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③他の法令に違反することとなる場合

◆利益相反について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究契約に基づき、受け入れた研究費を使用し実施します。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との研究情報の利用に関する契約書に基づき、東北大学東北メディカル・メガバンク機構の有するデータをサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社に提供し、食習慣・生活習慣と体組成の関連性について理解を深めます。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等と利害関係についての公正性を保ちます。

以下、過去に掲載を行っていた文書

【公開日】 2026 年 7 月 9 日

作成日 2024 年 7 月 29 日
(最終更新日 2026 年 6 月 8 日)

「情報公開文書」

受付番号：2026-4-044

課題名：食習慣・生活習慣と体組成の関連性の検討

研究責任者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門
教授 寶澤 篤

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画参加者のうち、地域住民・三世代コホート宮城（20 歳以上）で、Inbody（体成分分析装置）に関わるデータがベースライン、詳細二次調査のいずれかで収集されている方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2025年 1 月（研究実施許可日）～2027年12月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的】

急速な高齢化による高齢人口の増加は、サルコペニア（筋肉量の減少）をはじめとする加齢性の疾患の増加や、健康寿命の延伸に対するニーズの増加、医療経済の圧迫につながっています。そこで、本研究では、より個に応じた実行可能な食及び生活習慣の提案により個の健康寿命の延伸を目的として、現状の日本における体組成の実態およびこれに関与する食生活・生活習慣因子を同定するとともに、将来の体組成予測ならびに関連する疾病の予測の検討を行います。

【研究方法】

本研究は、東北メディカル・メガバンク計画コホート調査参加者のベースライン調査、二次調査（ベースライン調査から約 5 年後）、三次調査（ベースライン調査から約 10 年後）の下記データ項目を用いて、下記の 3 点について、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究により解析を行います。

- 1) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者における年代別のInbodyによる体組成の把握と関与する食生活・生活習慣を明らかにする。
- 2) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の食事、年齢、性別を考慮した10年間の体組成の変化と、これに関与する食生活・生活習慣等の因子を解明する。
- 3) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の、コホート参加開始5年後、

10年後の体組成の変化と疾患の発症との関係を明らかにするとともに、これを予測する生活習慣・遺伝子・代謝産物・血液検査値を解明する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用する主なデータ項目は以下の通りです。

- ・ 基本情報（年齢、性別）
- ・ 調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）
- ・ 調査票(食)情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）
- ・ 検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）
- ・ 生理機能検査情報（InBody 検査、握力、脚伸展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）
- ・ ゲノム情報（SNP アレイ情報）
- ・ メタボローム（代謝産物）情報
（いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報）
- ・ 介護保険情報、レセプト情報

4. 外部への試料・情報の提供

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社へ提供されます。

なお、「3.研究に用いる試料・情報の種類」に示す情報には、高度なセキュリティを担保した当機構のスーパーコンピュータで内外の研究者がアクセスします。外部の共同研究者がアクセスする場合も、高度なセキュリティが担保された端末から、承認された者のみが解析を行います。このスーパーコンピュータ内では、個人情報とこれらの情報は紐づけられません。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：張替 秀郎 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：無

情報：基本情報（年齢、性別）

調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）

調査票（食）情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）

検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）

生理機能検査情報（InBody検査、握力、脚伸展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）

ゲノム情報（SNPアレイ情報）

メタボローム（代謝産物）情報

(いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報)
介護保険情報、レセプト情報

5. 関係研究組織

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

研究責任者：竇澤 篤

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 教授

共同研究機関

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

研究責任者：立石 法史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ窓口

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-273-6212

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL：022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合

◆利益相反について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究契約に基づき、受け入れた研究費を使用し実施します。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との研究情報の利用に関する契約書に基づき、東北大学東北メディカル・メガバンク機構の有するデータをサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社に提供し、食習慣・生活習慣と体組成の関連性について理解を深めます。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等と利害関係についての公正性を保ちます。

「情報公開文書」

受付番号：2024-4-100

課題名：食習慣・生活習慣と体組成の関連性の検討

研究責任者：東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門
教授 寶澤 篤

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画参加者のうち、地域住民・三世代コホート宮城（20 歳以上）で、Inbody（体成分分析装置）に関わるデータがベースライン、詳細二次調査のいずれかで収集されている方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2025年 1 月（研究実施許可日）～2027年12月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的】

急速な高齢化による高齢人口の増加は、サルコペニア（筋肉量の減少）をはじめとする加齢性の疾患の増加や、健康寿命の延伸に対するニーズの増加、医療経済の圧迫につながっています。そこで、本研究では、より個に応じた実行可能な食及び生活習慣の提案により個の健康寿命の延伸を目的として、現状の日本における体組成の実態およびこれに関与する食生活・生活習慣因子を同定するとともに、将来の体組成予測ならびに関連する疾病の予測の検討を行います。

【研究方法】

本研究は、東北メディカル・メガバンク計画コホート調査参加者のベースライン調査、詳細二次調査（ベースライン調査から約 5 年後）、詳細三次調査（ベースライン調査から約 10 年後）の下記データ項目を用いて、下記の 3 点について、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究により解析を行います。

- 1) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者における年代別のInbodyによる体組成の把握と関与する食生活・生活習慣を明らかにする。
- 2) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の食事、年齢、性別を考慮した10年間の体組成の変化と、これに関与する食生活・生活習慣等の因子を解明する。
- 3) 東北メディカル・メガバンク計画のコホート参加者の、コホート参加開始5年後、

10年後の体組成の変化と疾患の発症との関係を明らかにするとともに、これを予測する生活習慣・遺伝子・代謝産物・血液検査値を解明する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用する主なデータ項目は以下の通りです。

- ・ 基本情報（年齢、性別）
- ・ 調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）
- ・ 調査票(食)情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）
- ・ 検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）
- ・ 生理機能検査情報（InBody 検査、握力、脚伸展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）
- ・ ゲノム情報（SNP アレイ情報）
- ・ メタボローム（代謝産物）情報
（いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報）
- ・ 介護保険情報、レセプト情報

4. 外部への試料・情報の提供

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社へ提供されます。

なお、「3.研究に用いる試料・情報の種類」に示す情報には、高度なセキュリティを担保した当機構のスーパーコンピュータで内外の研究者がアクセスします。外部の共同研究者がアクセスする場合も、高度なセキュリティが担保された端末から、承認された者のみが解析を行います。このスーパーコンピュータ内では、個人情報とこれらの情報は紐づけられません。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：山本 雅之 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：無

情報：基本情報（年齢、性別）

調査票(生活)情報（運動、飲酒、喫煙、ストレス、服薬、睡眠、罹患歴、女性の健康等）

調査票（食）情報（食生活、各食品摂取量、摂取頻度等）

検体検査情報（身長、体重、血液学的検査、生化学的検査等）

生理機能検査情報（InBody検査、握力、脚伸展、骨量、腹囲、血圧、心電図、肺機能等）

ゲノム情報（SNPアレイ情報）

メタボローム（代謝産物）情報

（いずれもベースライン、詳細二次、詳細三次調査で取得した情報）

介護保険情報、レセプト情報

5. 関係研究組織

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

研究責任者：寶澤 篤

東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門教授

共同研究機関

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

研究責任者：立石 法史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ窓口

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-273-6212

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合

◆利益相反について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との共同研究契約に基づき、受け入れた研究費を使用し実施します。

本研究は、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社との研究情報の利用に関する契約書に基づき、東北大学東北メディカル・メガバンク機構の有するデータをサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社に提供し、食習慣・生活習慣と体組成の関連性について理解を深めます。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等と利害関係についての公正性を保ちます。